

講義名	統計的方法論研究			授業形態	
担当教員	後藤 こそ恵	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限		
		単位数	0	履修開始年次	1年生

主題と概要

本講義では、統計的手法を用いた研究をおこなう際に必要になるデータの取り扱い方を修得します。

到達目標

この講義では次の4つの目標を設定します。
 (1) 統計基本的な操作ができる
 (2) 基本統計量の計算ができる
 (3) 仮説検定の方法が理解できる
 (4) 多変量解析の概要が理解できる

提出課題

毎回提出してもらう課題と最終レポートがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

適宜解説やコメントを行います。

評価の基準

毎回の課題 50%
 最終レポート 50%

履修にあたっての注意・助言他

毎回の課題提出をしっかりと取り組むことで、知識や技能の定着が可能となるので、しっかりと出席していただきたい。

教科書

.1からのデータ分析.	古川一郎・上原渉	碩学舎	2640	978-4-502-436
-------------	----------	-----	------	---------------

参考図書

.なし.

その他

随時指示します。

授業計画

内容は受講者数や諸事情によって変更する場合があります

- 第1章 研究の進め方とデータ分析
 - 第2章 観光業を取り巻く環境とマーケティングの理論
 - 第3章 一次データで理解する観光業
 - 第4章 分析から導かれる訪日観光客誘致の戦略
 - 第5章 文化的コンテンツと顧客満足度の理論
 - 第6章 顧客満足度の質問票調査
 - 第7章 分析から導かれる文化的コンテンツのマーケティング戦略
 - 第8章 広告を取り巻く環境と広告の理論
 - 第9章 インタビューと実験によるデータ収集
 - 第10章 未完成広告テストから導かれる広告表現計画
 - 第11章 原価感イメージと消費者行動の理論
 - 第12章 一次データを使った国のイメージ
 - 第13章 分析から導かれる国際マーケティング戦略
 - 第14章 データ収集の方法
 - 第15章 統計分析の基本的な考え方
- + テキストマイニング分析についても取り扱う予定です

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習としてテキストを事前に読むために2時間、学習内容の復習をするために2時間を想定する。授業中に習った操作方法を試してみることをお勧めする。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

大学院のDPに「理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的的方法論を身につけていること」とあります。本講義は、修士論文を作成する過程においてアンケート調査により得られた定量的なデータを統計的な方法により解析する手法を習得します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

宿題の提出、授業中の小レポートにはレスポンスもしくは代替手段を使用する。そのため、スマートフォンやパソコンなどインターネット接続が可能な端末が必須となる。余裕を持って準備いただけるようお願いしたい。

実務経験の有無及び活用

備考